

ロシア語学特論Ⅱ A

(春学期 / 2 単位)

高橋健一郎

●テーマ

ロシア語動詞の様々な接頭辞について理解する。

●授業概要

基本となる動詞に様々な接頭辞がついた動詞を、基本動詞別に取り上げ、意味の差を考える。

●到達目標

ロシア語動詞の接頭辞を体系的に学び、実践的に使いこなせるようになることを目標とする。

●授業計画

毎回、外国人向けに出版されているテキストを読み、問題を解く。必要に応じて、ロシア人言語学者による接頭辞に関する研究を紹介する。各回のテーマは以下の通り。

第1回：動詞の接頭辞

第2回：брать + 接頭辞の動詞群

第3回：давать + 接頭辞の動詞群

第4回：работать + 接頭辞の動詞群

第5回：жить + 接頭辞の動詞群

第6回：платить + 接頭辞の動詞群

第7回：менять + 接頭辞の動詞群

第8回：ступать + 接頭辞の動詞群

第9回：говорить + 接頭辞の動詞群

第10回：сказать + 接頭辞の動詞群

第11回：пускать + 接頭辞の動詞群

第12回：греть + 接頭辞の動詞群

第13回：думать + 接頭辞の動詞群

第14回：接頭辞のついた運動の動詞 (ходить, идти系)

第15回：接頭辞のついた運動の動詞 (ехать, ездить系)

●事前学習

テキストの単語を調べ、問題を解く。

●事後学習

授業で習った箇所を繰り返し、確実に語彙、表現を身に着ける。

●成績評価

平常点により評価する。

●テキスト

Э.В. Аркадьева и др. Русский язык как иностранный: Когда не помогают словари..., Практикум по лексике современного русского языка. Часть 2. М., 2011.

С. И. Дерягина, Е. В. Мартыненко. Учебно-справочное пособие по лексике русского языка. М., 2006.

М.А. Кронгауз, Приставки и глаголы в русском языке: семантическая грамматика. М., 1998.

Э.Н. Эндрюс, Русские глагольные приставки. М., 2009.

●参考書・参考資料等

特になし。

●備考

特になし。

ロシア語学特論Ⅱ B

(秋学期 / 2 単位)

高橋健一郎

●テーマ

ロシア語動詞の様々な接頭辞について理解する。

●授業概要

意味の差を理解しにくい類義語に関して書かれたロシア語の説明を読み、問題を解く。

●到達目標

ロシア語の名詞、形容詞、副詞の類義語、縁語を実践的に使いこなせるようになる。

●授業計画

毎回、外国人向けに出版されているテキストを読み、問題を解く。必要に応じて、ロシア人言語学者による類義語に関する研究を紹介する。各回のテーマは以下の通り。

第1回：類義語

第2回：名詞 (1) 行為 (поступок, действие)、義務 (долг, обязанность...)

第3回：名詞 (2) 状況 (обстановка, положение.)

第4回：名詞 (3) 出来事 (событие, случай.)

第5回：名詞 (4) 方法 (способ, метод, приём)

第6回：形容詞 (1) 接辞 -н-/-лив- (сонный / сонливый.)

第7回：形容詞 (2) 接辞 -н-/-чив- (обидный / обманчивый.)

第8回：形容詞 (3) 接辞 -н-/-ств- (тайный / таинственный.)

第9回：形容詞 (4) 接辞 -н-/-ичн-/-еск-/-ическ- (логичный / логический)

第10回：形容詞 (5) 接辞 -ян-/-ов-, -ник-ов//овит (ледяной/ледовый/ледниковый/ледовитый.)

第11回：形容詞 (6) 接辞 -н-/-ян-/-ов- (ветренный / ветряной / ветровой)

第12回：形容詞 (8) 接辞 без-//не- (безвкусный / невкусный)

第13回：形容詞 (9) その他の形容詞

第14回：副詞 (1) 時を表す副詞 (только/сейчас, всегда/всё время)

第15回：副詞 (2) 場所を表す副詞 (издалека/издали)

●事前学習

テキストの単語を調べ、問題を解く。

●事後学習

授業で習った箇所を繰り返し、確実に語彙、表現を身に着ける。

●成績評価

平常点により評価する。

●テキスト

Э.В. Аркадьева и др. Русский язык как иностранный: Когда не помогают словари..., Практикум по лексике современного русского языка. Часть 2. М., 2011.

С. И. Дерягина, Е. В. Мартыненко. Учебно-справочное пособие по лексике русского языка. М., 2006.

●参考書・参考資料等

特になし。

●備考

特になし。

ロシア語学演習 I A (春学期 / 2 単位)
ウラジーミル・ジダーノフ

- テーマ
Основы Лингвокультурологии
- 授業概要
Продолжить знакомить аспирантов с основными положениями научной дисциплины Основы Лингвокультурологии.
- 到達目標
Усвоить основу лингвокультурологии
- 授業計画

 1. Введение.
 2. Что такое культура.
 3. Культура и язык.(1)
 4. Культура и язык.(2)
 5. История появления науки Лингвокультурология.
 6. Лингвострановедение и Лингвокультурология.(1)
 7. Лингвострановедение и Лингвокультурология.(2)
 8. Основные теории Лингвокультурологии.(1)
 9. Основные теории Лингвокультурологии.(2)
 10. Основные положения теории Сеппира-Уорфа.
 11. Понятие языковой личности.
 12. Лингвокультурологический метод изучения произведений литературы и искусства(1)
 13. Лингвокультурологический метод изучения произведений литературы и искусства(2)
 14. Тест (на уроке).
 15. Резервный уро

- 事前学習
Прочитать данную часть текста и переводить ее на японский язык.
- 事後学習
Исправить ошибки своего перевода и усвоить содержание урока.
- 成績評価
Посещаемость, серьезность
- テキスト
Воробьев В.В. Лингвокультурология: теория и методы. — М., 1997.
- 参考書・参考資料等

 - 1) Маслова В. А. [Лингвокультурология: Учебное пособие для студентов высших учебных заведений.](#) — М., 2001.
 - 2) Красных В.В. Этнопсихоллингвистика и лингвокультурология. — М., 2002.

- 備考

ロシア語学演習 I B (秋学期 / 2 単位)
ウラジーミル・ジダーノフ

- テーマ
Основы Лингвокультурологии
- 授業概要
Продолжить знакомить аспирантов с основными положениями научной дисциплины Основы Лингвокультурологии.
- 到達目標
Усвоить основу лингвокультурологии
- 授業計画

 1. Введение.
 2. Языковая картина мира у разных народов.(1)
 3. Языковая картина мира у разных народов.(2)
 4. Понятие концепта.(1)
 5. Понятие концепта.(2)
 6. Национальные артефакты (артефакт – известный факт национальной культуры).(1)
 7. Национальные артефакты (артефакт – известный факт национальной культуры).(2)
 8. Прецедентные имена и явления (то есть, хорошо всем известные).
 9. Значение лингвокультурологии для РКИ для преподавания иностранных языков и РКИ.(1)
 10. Значение лингвокультурологии для РКИ для преподавания иностранных языков и РКИ.(2)
 11. Значение лингвокультурологии для РКИ для преподавания иностранных языков и РКИ.(3)
 12. Просмотр и обсуждение фильма «Особенности национальной Охоты».(1)
 13. Просмотр и обсуждение фильма «Особенности национальной Охоты».(2)
 14. Тест.
 15. Резервный урок

- 事前学習
Прочитать данную часть текста и переводить ее на японский язык.
- 事後学習
Исправить ошибки своего перевода и усвоить содержание урока.
- 成績評価
Посещаемость, серьезность.
- テキスト
Воробьев В.В. Лингвокультурология: теория и методы. — М., 1997.
- 参考書・参考資料等

 - 1) Красных В.В. Этнопсихоллингвистика и лингвокультурология. — М., 2002.
 - 2) Сергеева А.В. Русские: Стереотипы поведения, традиции, ментальность. М., 2004

- 備考

ロシア語学演習ⅤA

(春学期／2単位)

山田 隆

●テーマ

現代ロシア語の語法を研究する

●授業概要

ロシア語動詞のアスペクトは二項対立的なカテゴリーとして理解されることがあるが、意味と用法を精査すると、安易に図式化できない用例が多々存在する。名著を手がかりに、動詞アスペクトが競合する諸条件を研究する。

●到達目標

難易度の高い現代ロシア語を読み解く語学能力を涵養し、『ロシア語検定 レベル2』以上の実力をめざす。

●授業計画

第1回：動詞アスペクトの基本的な意味と用法

第2回：練習課題（基本的な意味と用法）

第3回：過去時制における用法（1）20頁。動作の過程

第4回：過去時制における用法（2）31頁。動作の反復

第5回：過去時制における用法（3）40頁。動作の名指し

第6回：練習課題（過去時制における基本的な意味と用法）

第7回：練習課題（特殊な用法）

第8回：過去時制における否定表現（1）62頁。ニュアンスの差異

第9回：過去時制における否定表現（2）67頁。競合するケース

第10回：練習課題（否定表現における意味と用法）

第11回：未来時制における用法（1）72頁。個別的な意味

第12回：未来時制における用法（2）79頁。モダリティ

第13回：未来時制における用法（3）81頁。競合するケース

第14回：練習課題（未来時制における基本的な意味と用法）

第15回：まとめ

●事前学習

予めテキスト翻訳の割り当てをおこなうので、該当する箇所で行われる「文法概念」「専門用語」をマークするなどの入念な準備が求められる。

●事後学習

精読後にはノートやカードの整理をおこなう。研究とはトレーニングの蓄積であるから、間違いを繰り返さない方策が求められる。

●成績評価

課題の提出状況や授業における研究発表など平常点によって評価する。

●テキスト

ラススードワ著『ロシア語動詞の体の研究』ロシア語出版（プリント配布）

●参考書・参考資料等

適宜指示する。

●備考

特になし。

ロシア語学演習ⅤB

(秋学期／2単位)

山田 隆

●テーマ

現代ロシア語の語法を研究する。

●授業概要

ロシア語学特論ⅤAの継続授業である。ロシアで研究された名著を手がかりに、動詞アスペクトが競合する諸条件と、その結果生ずる意味ニュアンスの違いを研究する

●到達目標

難易度の高い現代ロシア語を読み解く語学能力を涵養し、『ロシア語検定レベル2』以上の実力をめざす。

●授業計画

第1回：未来時制における用法（1）83頁。例示的な用法

第2回：未来時制における用法（2）88頁。モダリティ

第3回：練習課題

第4回：不定形における用法（1）一般的な意味・用法

第5回：不定形における用法（2）96頁。単一動作の表現とアスペクト

第6回：不定形における用法（3）99頁。動作への着手

第7回：練習課題

第8回：不定形における用法（4）103頁。動作事実の名指しと向目的的な動作

第9回：不定形における用法（5）110頁。反復的な動作

第10回：練習課題

第11回：命令形における用法（1）128頁。一般的な用法

第12回：命令形における用法（2）129頁。競合する

ケース

第13回：命令形における用法（3）139頁。否定命令の

ケース

第14回：練習課題

第15回：まとめ

●事前学習

予めテキスト翻訳の割り当てをおこなうので、該当する箇所で行われる「文法概念」「専門用語」をマークするなどの入念な準備が求められる。

●事後学習

精読後にはノートやカードの整理をおこなう。研究とはトレーニングの蓄積であるから、間違いを繰り返さない方策が求められる。

●成績評価

課題の提出状況や授業における研究発表など平常点によって評価する。

●テキスト

ラススードワ著『ロシア語動詞の体の研究』ロシア語出版社（プリント配布）

●参考書・参考資料等

適宜指示する。

●備考

特になし。

ロシア語学特殊演習 A (春学期 / 2 単位)
ウラジーミル・ジダーノフ

●**テーマ**

研究計画を確認し、修士論文を執筆する。

●**授業概要**

この授業は修士論文指導を主たる目的としています。したがってそれぞれの教員がそれぞれの指導担当の院生と相談の上、論文のテーマにそったテキストを選定し、授業を進めていく。

●**到達目標**

ロシア研究の高度な理解と考察を踏まえつつ、研究テーマにおける専門性を深めた修士論文を完成させる。

●**授業計画**

- 第1回 修士論文の執筆ガイダンス
- 第2回 テーマと研究計画の確認
- 第3回 研究進捗状況の報告 (1)
- 第4回 研究進捗状況の報告 (2)
- 第5回 研究進捗状況の報告 (3)
- 第6回 研究進捗状況の報告 (4)
- 第7回 研究進捗状況の報告 (5)
- 第8回 修士論文執筆内容の指導 (1)
- 第9回 修士論文執筆内容の指導 (2)
- 第10回 修士論文執筆内容の指導 (3)
- 第11回 修士論文執筆内容の指導 (4)
- 第12回 修士論文執筆内容の指導 (5)
- 第13回 修士論文執筆内容の指導 (6)
- 第14回 春学期の成果報告
- 第15回 夏期休暇中の研究予定確認

●**事前学習**

収集した資料を読み込む。資料に基づき、執筆作業を順次進める。

●**事後学習**

指摘事項に基づき、論述を加筆修正する。

●**成績評価**

準備作業の経過時間と発表内容の品質により評価する。

●**テキスト**

特になし。

●**参考書・参考資料等**

特になし。必要に応じて随時指示する。

●**備考**

特になし。

ロシア語学特殊演習 A (春学期 / 2 単位)
山田 隆

●**テーマ**

研究計画を確認し、修士論文を執筆する。

●**授業概要**

この授業は修士論文指導を主たる目的としています。したがってそれぞれの教員がそれぞれの指導担当の院生と相談の上、論文のテーマにそったテキストを選定し、授業を進めていく。

●**到達目標**

ロシア研究の高度な理解と考察を踏まえつつ、研究テーマにおける専門性を深めた修士論文を完成させる。

●**授業計画**

- 第1回 修士論文の執筆ガイダンス
- 第2回 テーマと研究計画の確認
- 第3回 研究進捗状況の報告 (1)
- 第4回 研究進捗状況の報告 (2)
- 第5回 研究進捗状況の報告 (3)
- 第6回 研究進捗状況の報告 (4)
- 第7回 研究進捗状況の報告 (5)
- 第8回 修士論文執筆内容の指導 (1)
- 第9回 修士論文執筆内容の指導 (2)
- 第10回 修士論文執筆内容の指導 (3)
- 第11回 修士論文執筆内容の指導 (4)
- 第12回 修士論文執筆内容の指導 (5)
- 第13回 修士論文執筆内容の指導 (6)
- 第14回 春学期の成果報告
- 第15回 夏期休暇中の研究予定確認

●**事前学習**

収集した資料を読み込む。資料に基づき、執筆作業を順次進める。

●**事後学習**

指摘事項に基づき、論述を加筆修正する。

●**成績評価**

特になし。

●**テキスト**

特になし。

●**参考書・参考資料等**

特になし。必要に応じて随時指示する。

●**備考**

特になし。

ロシア語学特殊演習 A

(春学期 / 2 単位)

高橋健一郎

●テーマ

研究計画を確認し、修士論文を執筆する。

●授業概要

この授業は修士論文指導を主たる目的としています。したがってそれぞれの教員がそれぞれの指導担当の院生と相談の上、論文のテーマにそったテキストを選定し、授業を進めていく。

●到達目標

ロシア研究の高度な理解と考察を踏まえつつ、研究テーマにおける専門性を深めた修士論文を完成させる。

●授業計画

- 第 1 回 修士論文の執筆ガイダンス
- 第 2 回 テーマと研究計画の確認
- 第 3 回 研究進捗状況の報告 (1)
- 第 4 回 研究進捗状況の報告 (2)
- 第 5 回 研究進捗状況の報告 (3)
- 第 6 回 研究進捗状況の報告 (4)
- 第 7 回 研究進捗状況の報告 (5)
- 第 8 回 修士論文執筆内容の指導 (1)
- 第 9 回 修士論文執筆内容の指導 (2)
- 第 10 回 修士論文執筆内容の指導 (3)
- 第 11 回 修士論文執筆内容の指導 (4)
- 第 12 回 修士論文執筆内容の指導 (5)
- 第 13 回 修士論文執筆内容の指導 (6)
- 第 14 回 春学期の成果報告
- 第 15 回 夏期休暇中の研究予定確認

●事前学習

収集した資料を読み込む。資料に基づき、執筆作業を順次進める。

●事後学習

指摘事項に基づき、論述を加筆修正する。

●成績評価

準備作業の経過時間と、発表内容の品質により評価する。

●テキスト

特になし。

●参考書・参考資料等

特になし。必要に応じて随時指示する。

●備考

特になし。

ロシア語学特殊演習 B

(秋学期 / 2 単位)

ウラジーミル・ジダーノフ

●テーマ

研究テーマに則った修士論文を提出する。

●授業概要

この授業は修士論文の指導を主たる目的としている。したがってそれぞれの教員が指導担当の大学院生と相談の上、論文のテーマにそった研究資料を選定し、授業を進めていく。

●到達目標

ロシア研究の高度な理解と研究を踏まえつつ、研究テーマにおける専門性を深めた修士論文を完成させる。

●授業計画

- 第 1 回 研究成果の報告
- 第 2 回 修士論文執筆内容の指導 (1)
- 第 3 回 修士論文執筆内容の指導 (2)
- 第 4 回 修士論文執筆内容の指導 (3)
- 第 5 回 修士論文執筆内容の指導 (4)
- 第 6 回 修士論文執筆内容の指導 (5)
- 第 7 回 修士論文執筆内容の指導 (6)
- 第 8 回 修士論文中間発表会の準備 (1)
- 第 9 回 修士論文中間発表会の準備 (2)
- 第 10 回 修士論文中間発表会予行
- 第 11 回 中間発表会における問題点の整理
- 第 12 回 中間発表会における問題点修正
- 第 13 回 修士論文の仕上げ (1)
- 第 14 回 修士論文の仕上げ (2)
- 第 15 回 修士論文提出の最終報告

●事前学習

収集した資料を読み込む。資料に基づき、執筆作業を進める。

●事後学習

指摘事項に基づき、記述を加筆修正する。

●成績評価

準備作業の経過時間と、発表内容の品質により評価する。
修士論文の最終的な内容により評価する。

●テキスト

特になし。

●参考書・参考資料等

特になし。必要に応じて随時指示する。

●備考

特になし。

ロシア語学特殊演習B

(秋学期／2単位)

山田 隆

●テーマ

研究テーマに則った修士論文を提出する。

●授業概要

この授業は修士論文の指導を主たる目的としている。したがってそれぞれの教員が指導担当の大学院生と相談の上、論文のテーマにそった研究資料を選定し、授業を進めていく。

●到達目標

ロシア研究の高度な理解と研究を踏まえつつ、研究テーマにおける専門性を深めた修士論文を完成させる。

●授業計画

- 第1回 研究成果の報告
- 第2回 修士論文執筆内容の指導 (1)
- 第3回 修士論文執筆内容の指導 (2)
- 第4回 修士論文執筆内容の指導 (3)
- 第5回 修士論文執筆内容の指導 (4)
- 第6回 修士論文執筆内容の指導 (5)
- 第7回 修士論文執筆内容の指導 (6)
- 第8回 修士論文中間発表会の準備 (1)
- 第9回 修士論文中間発表会の準備 (2)
- 第10回 修士論文中間発表会予行
- 第11回 中間発表会における問題点の整理
- 第12回 中間発表会における問題点修正
- 第13回 修士論文の仕上げ (1)
- 第14回 修士論文の仕上げ (2)
- 第15回 修士論文提出の最終報告

●事前学習

収集した資料を読み込む。資料に基づき、執筆作業を進める。

●事後学習

指摘事項に基づき、記述を加筆修正する。

●成績評価

準備作業の経過時間と、発表内容の品質により評価する。
修士論文の最終的な内容により評価する。

●テキスト

特になし。

●参考書・参考資料等

特になし。必要に応じて随時指示する。

●備考

特になし。

ロシア語学特殊演習B

(秋学期／2単位)

高橋健一郎

●テーマ

研究テーマに則った修士論文を提出する。

●授業概要

この授業は修士論文の指導を主たる目的としている。したがってそれぞれの教員が指導担当の大学院生と相談の上、論文のテーマにそった研究資料を選定し、授業を進めていく。

●到達目標

ロシア研究の高度な理解と研究を踏まえつつ、研究テーマにおける専門性を深めた修士論文を完成させる。

●授業計画

- 第1回 研究成果の報告
- 第2回 修士論文執筆内容の指導 (1)
- 第3回 修士論文執筆内容の指導 (2)
- 第4回 修士論文執筆内容の指導 (3)
- 第5回 修士論文執筆内容の指導 (4)
- 第6回 修士論文執筆内容の指導 (5)
- 第7回 修士論文執筆内容の指導 (6)
- 第8回 修士論文中間発表会の準備 (1)
- 第9回 修士論文中間発表会の準備 (2)
- 第10回 修士論文中間発表会予行
- 第11回 中間発表会における問題点の整理
- 第12回 中間発表会における問題点修正
- 第13回 修士論文の仕上げ (1)
- 第14回 修士論文の仕上げ (2)
- 第15回 修士論文提出の最終報告

●事前学習

収集した資料を読み込む。資料に基づき、執筆作業を進める。

●事後学習

指摘事項に基づき、記述を加筆修正する。

●成績評価

準備作業の経過時間と、発表内容の品質により評価する。
修士論文の最終的な内容により評価する。

●テキスト

特になし。

●参考書・参考資料等

特になし。必要に応じて随時指示する。

●備考

特になし。

ロシア文学特論ⅡA

(春学期/2単位)

鈴木 淳一

●テーマ

ドストエフスキーの米ビート・ジェネレーション作家への影響

●授業概要

「ロシア文学特論ⅡA」では「ロシア文学特論ⅡB」とともに、アメリカにおけるドストエフスキー文学の受容について考える。

「ロシア文学特論ⅡA」では、最初に世界文学としてのドストエフスキー文学について考え、続いてアメリカにおけるドストエフスキー受容史を概観するとともに、ビート・ジェネレーションとドストエフスキー作品の関係に焦点を当てる。

リヴオーワの『ドストエフスキーと1940～1960年代アメリカ文学』(2008年、ペトロザヴォーツク)を手掛かりに、ビート・ジェネレーションの文学的特質を概観し、ビート・ジェネレーションにおけるドストエフスキー作品の意義を明らかにするとともに、ジョン・クレロン・ホルムズ(1926-88)の作品『ゴー』におけるドストエフスキーの影響を跡付ける

●到達目標

現代まで影響を与え続けている19世紀ロシアの巨人、ドストエフスキーの作品と思想についての理解を深めるとともに、ドストエフスキーのアメリカ作家、とりわけビート・ジェネレーションの作家に対する影響について概観し、その現代的意義を学ぶ。

●授業計画

01回：ドストエフスキー作品概観

02回：ドストエフスキー作品におけるテーマと主人公

03回：ドストエフスキー作品の国外における認知(ヨーロッパ)

04回：ドストエフスキー作品の国外における認知(日本)

05回：ドストエフスキー作品の国外における認知(アメリカ)

06回：ビート・ジェネレーションのアメリカ文学・文化における立ち位置

07回：ビート・ジェネレーション誕生の社会的背景

08回：ビート・ジェネレーション誕生の精神的背景

09回：精神革命としてのビート

10回：ビート文化におけるドストエフスキー

11回：ビート・ジェネレーションの崇拝対象としてのドストエフスキー

12回：ドストエフスキーとジョン・クレロン・ホルムズ(1926-88)

13回：『ゴー』(1952)における地下室のテーマ

14回：『ゴー』における主人公の問題(2タイプのニヒリスト)

15回：ドストエフスキーの都市神話と『ゴー』におけるその継承発展

●事前学習

テキストの該当頁をしっかりと読み込み、そこで言及されている作品にできる限り目を通しておくこと。

●事後学習

読み進んだテキストの内容について吟味し、作品の意見の妥当性について検討すること。

●成績評価

平常の授業態度で評価する。

●テキスト

(И.В.Львова.Ф.М.ДостоевскийиАмериканскийроман 1940-1960-х годов. Петрозаводск. 2008) はプリント配布する。

●参考書・参考資料等

- ①ドストエフスキー全集(日本語訳)、
- ②ビート・ジェネレーション作家の作品(日本語訳)

●備考

特になし

ロシア文学特論ⅡB

(秋学期/2単位)

鈴木 淳一

●テーマ

ドストエフスキーの米ビート・ジェネレーション作家への影響

●授業概要

「ロシア文学特論ⅡB」では「ロシア文学特論ⅡA」に引き続き、リヴオーワの『ドストエフスキーと1940～1960年代アメリカ文学』(2008年、ペトロザヴォーツク)を手掛かりに、アメリカのビート・ジェネレーションにおけるドストエフスキー文学の受容について考える。

「ロシア文学特論ⅡB」では、まずジャック・ケルアック(1922-69)のドストエフスキー受容について考察し、続いて1940～1960年代アメリカの未成年を主人公とした文学作品とドストエフスキー作品の関係に焦点を絞り、カーソン・マッカーズ(1917-67)、サリンジャー(1919-2010)、シルヴィア・プラス(1932-63)、フィリップ・ロス(1933-)の作品に対するドストエフスキーの影響について考察する。

●到達目標

現代まで影響を与え続けている19世紀ロシアの巨人、ドストエフスキーの作品と思想についての理解を深めるとともに、ドストエフスキーのアメリカ作家、とりわけビート・ジェネレーションの作家に対する影響について概観し、その現代的意義を学ぶ。

●授業計画

01回：ジャック・ケルアックの文学

02回：ジャック・ケルアックに芸術観におけるドストエフスキー

03回：『路上』(1957)とドストエフスキーの伝統(主人公の問題)

04回：『地下街の人々』(1953)における地下室のテーマの継承発展

05回：1960年代ビート・ジェネレーション文学の特質

06回：ビート・ジェネレーション文学の特質と『孤独な天使たち』(1956)

07回：ドストエフスキーと未成年のテーマ

08回：1940年代～1960年代アメリカにおける未成年をテーマとした文学

09回：アメリカにおける未成年をテーマとした文学の特質

10回：ドストエフスキーとカーソン・マッカーズ(1917-67)

11回：ドストエフスキーとJ.D.サリンジャー(1919-2010)

11回：ドストエフスキーの『未成年』とサリンジャーの『ライ麦畑でつかまえて』(1951)

12回：ドストエフスキーとシルヴィア・プラウト(1932-63)

13回：ドストエフスキーとフィリップ・ロス

14回：『ポートノイの不満』(1969)における罪と罰の問題

15回：『ポートノイの不満』における罪と罰のテーマ

●事前学習

テキストの該当頁をしっかりと読み込み、そこで言及されている作品にできる限り目を通しておくこと。

●事後学習

読み進んだテキストの内容について吟味し、作品の意見の妥当性について検討すること。

●成績評価

平常の授業態度で評価する

●テキスト

(И.В.Львова.Ф.М.ДостоевскийиАмериканскийроман 1940-1960-х годов. Петрозаводск. 2008) はプリント配布する

●参考書・参考資料等

- ①ドストエフスキー全集(日本語訳)、
- ②ビート・ジェネレーション作家の作品(日本語訳)

●備考

特になし

ロシア文学演習 I A

(春学期 / 2 単位)

エドアルド・ヴラーソフ

●テーマ

古典的なロシアの映画を視聴し、日常的によく使われる表現を身につける

●授業概要

この授業ではロシア文学・文化に関して以下のテーマを取り上げ研究する。

- ①ソ連、およびロシアの古典とされる映画の基礎知識修得
- ②様々な俳優によって話されるロシア語テキストの読解訓練
- ③ロシアのユーモアを学ぶ
- ④様々なクラシック映画を通してロシア文化を知る
- ⑤コメディだけではなくユーモアを混じえた有名な映画を理解する
- ⑥映画を通して、ロシアのことわざの知識修得

●到達目標

日常的なロシア語を聴き取れる高度なロシア語運用能力を身につける。

●授業計画

1. Просмотр и обсуждение фильма “Москва слезам не верит”, 1 серия (начало).
2. Просмотр и обсуждение фильма “Москва слезам не верит”, 1 серия (окончание).
3. Просмотр и обсуждение фильма “Москва слезам не верит”, 2 серия (начало).
4. Просмотр и обсуждение фильма “Москва слезам не верит”, 2 серия (окончание).
5. Общее обсуждение фильма “Москва слезам не верит”. Повторный просмотр наиболее известных эпизодов.
6. Просмотр и обсуждение фильма “Осенний марафон” (начало).
7. Просмотр и обсуждение фильма “Осенний марафон” (окончание).
8. Общее обсуждение фильма “Осенний марафон”. Повторный просмотр наиболее известных эпизодов. Изучение крылатых фраз из фильма.
9. Общий обзор фильмов Георгия Данелия. Просмотр фрагментов фильмов с участием актёров – исполнителей главных ролей в фильме “Осенний марафон”: О. Баилашвили (“Служебный роман”, “Вокзал для двоих”), Е. Леонов (“Полосатый рейс”, “Джентльмены удачи”), Н. Гундарева (“Сладкая женщина”, “Зимний вечер в Гагарах”), М. Неёлова (“Старая, старая сказка”, “Ревизор”).
10. Просмотр и обсуждение фильма “Родня” (начало).
11. Просмотр и обсуждение фильма “Родня” (окончание).
12. Общее обсуждение фильма “Родня”. Повторный просмотр наиболее известных эпизодов. Изучение крылатых фраз из фильма.
13. Просмотр фрагментов фильмов с участием актёров – исполнителей главных ролей в фильме “Родня”: Н. Мордюкова (“Женитьба Бальзамина”, “Вокзал для двоих”), С. Крючкова (“Утомлённые солнцем”, “Старший сын”), Ю. Богатырёв (“Свой среди чужих, чужой среди своих”, “Несколько дней из жизни И.И. Обломова”).
14. Общий обзор фильмов Никиты Михалкова.
15. Юмор и мелодраматические мотивы в фильмах Н. Михалкова. Просмотр фрагментов фильмов “Раба любви”, “Неоконченная пьеса для механического пианино”, “Несколько дней из жизни И.И. Обломова”, “Очи чёрные”, “Утомлённые солнцем”, “Сибирский цирюльник”.

●事前学習

新出の単語や表現を調べる。

●事後学習

授業で見た箇所を自分でもう一度視聴し、大事な表現を覚える。

●成績評価

授業態度や予復習など、平常点によって評価する。

●テキスト

その都度プリント配布。

●参考書・参考資料等

適時指示する。

●備考

特になし。

ロシア文学演習 I B

(秋学期 / 2 単位)

エドアルド・ヴラーソフ

●テーマ

古典的なロシアの映画を視聴し、日常的によく使われる表現を身につける。

●授業概要

この授業ではロシア文学・文化に関して以下のテーマを取り上げ、研究する。

- ①ソ連、およびロシアの古典とされる映画の基礎知識修得
- ②様々な俳優によって話されるロシア語テキストの難解訓練
- ③ロシアのユーモアを学ぶ
- ④様々なクラシック映画を通してロシア文化を知る
- ⑤コメディだけではなくユーモアを混じえた有名な映画を理解する
- ⑥映画を通して、ロシアのことわざの知識修得

●到達目標

日常的なロシア語を聴き取れる高度なロシア語運用能力を身につける。

●授業計画

1. Просмотр и обсуждение фильма “Бриллиантовая рука” (начало).
2. Просмотр и обсуждение фильма “Бриллиантовая рука” (окончание).
3. Общее обсуждение фильма “Бриллиантовая рука”. Повторный просмотр наиболее известных эпизодов. Изучение крылатых фраз из фильма.
4. Общий обзор фильмов Леонида Гайдая. Просмотр короткометражных фильмов “Пёс барбос и необычный кросс”, “Самогонщики”.
5. Общий обзор фильмов Леонида Гайдая. Просмотр фрагментов фильмов “Операция Ы”, “Кавказская пленница”, “Иван Васильевич меняет профессию”, “12 стульев”.
6. Просмотр фрагментов фильмов с участием актёров – исполнителей главных ролей в фильме “Бриллиантовая рука”: Ю. Никулин (“Операция Ы”, “Кавказская пленница”, “Маленький беглец”, “Двадцать дней без войны”), А. Миронов (“Три плюс два”, “Берегись автомобиля”, “12 стульев”), А. Папанов (“Берегись автомобиля”, “12 стульев”, “Живые и мёртвые”).
7. Просмотр и обсуждение фильма “Концерт” (“Оркестр”) (начало).
8. Просмотр и обсуждение фильма “Концерт” (“Оркестр”) (окончание).
9. Общее обсуждение фильма “Концерт” (“Оркестр”).
10. Просмотр и обсуждение фильма “Ирония судьбы, или С лёгким паром”, 1 серия (начало)
11. Просмотр и обсуждение фильма “Ирония судьбы, или С лёгким паром”, 1 серия (окончание) + 2 серия (начало)
12. Просмотр и обсуждение фильма “Ирония судьбы, или С лёгким паром”, 2 серия (окончание). Просмотр фрагментов фильма “Ирония судьбы. Продолжение”.
13. Общее обсуждение фильма “Ирония судьбы, или С лёгким паром”. Повторный просмотр наиболее известных эпизодов. Изучение крылатых фраз из фильма.
14. Общий обзор фильмов Эльдара Рязанова.
15. Празднование Нового года в советских и российских фильмах. Просмотр фрагментов фильмов “Карнавальная ночь”, “Старый Новый год”, “Ёлки” и др.

●事前学習

新出の単語や表現を調べる。

●事後学習

授業で見た箇所を自分でもう一度視聴し、大事な表現を覚える。

●成績評価

授業態度や予復習など、平常点によって評価する。

●テキスト

その都度プリント配布。

●参考書・参考資料等

適時指示する。

●備考

特になし。

ロシア文学特殊演習 A

(春学期 / 2 単位)

鈴木 淳一

●テーマ

研究計画を確認し、修士論文を執筆する。

●授業概要

この授業は修士論文の指導を主たる目的としている。したがって、それぞれの教員が指導担当の大学院生と相談の上、論文のテーマにそったテキストを選定し、授業を進めていく。

●到達目標

ロシア研究の高度な理解と考察を踏まえつつ、研究テーマにおける専門性を深めた修士論文を完成させる。

●授業計画

第1回 修士論文の執筆ガイダンス

第2回 テーマと研究計画の確認

第3回 研究進捗状況の報告 (1)

第4回 研究進捗状況の報告 (2)

第5回 研究進捗状況の報告 (3)

第6回 研究進捗状況の報告 (4)

第7回 研究進捗状況の報告 (5)

第8回 修士論文執筆内容の指導 (1)

第9回 修士論文執筆内容の指導 (2)

第10回 修士論文執筆内容の指導 (3)

第11回 修士論文執筆内容の指導 (4)

第12回 修士論文執筆内容の指導 (5)

第13回 修士論文執筆内容の指導 (6)

第14回 春学期の成果報告

第15回 夏期休暇中の研究予定確認

●事前学習

収集した資料を読み込む。資料に基づき、執筆作業を順次進める。

●事後学習

指摘事項に基づき、論述を加筆修正する。

●成績評価

準備作業の経過時間と、発表内容の品質により評価する。

●テキスト

特になし。

●参考書・参考資料等

特になし。必要に応じて随時指示する。

●備考

特になし。

ロシア文学特殊演習 B

(秋学期 / 2 単位)

鈴木 淳一

●テーマ

研究テーマに則った修士論文を提出する。

●授業概要

この授業は修士論文の指導を主たる目的としている。したがって、それぞれの教員が指導担当の大学院生と相談の上、論文のテーマにそった研究資料を選定し、授業を進めていく。

●到達目標

ロシア研究の高度な理解と研究を踏まえつつ、研究テーマにおける専門性を深めた修士論文を完成させる。

●授業計画

第1回 研究成果の報告

第2回 修士論文執筆内容の指導 (1)

第3回 修士論文執筆内容の指導 (2)

第4回 修士論文執筆内容の指導 (3)

第5回 修士論文執筆内容の指導 (4)

第6回 修士論文執筆内容の指導 (5)

第7回 修士論文執筆内容の指導 (6)

第8回 修士論文中間発表会の準備 (1)

第9回 修士論文中間発表会の準備 (2)

第10回 修士論文中間発表会予行

第11回 中間発表会における問題点の整理

第12回 中間発表会における問題点修正

第13回 修士論文の仕上げ (1)

第14回 修士論文の仕上げ (2)

第15回 修士論文提出の最終報告

●事前学習

収集した資料を読み込む。資料に基づき、執筆作業を進める。

●事後学習

指摘事項に基づき、記述を加筆修正する。

●成績評価

準備作業の経過時間と、発表内容の品質により評価する。

修士論文の最終的な内容により評価する。

●テキスト

特になし。

●参考書・参考資料等

特になし。必要に応じて随時指示する。

●備考

特になし。

ロシア文化・思想特論A

(春学期／2単位)

大矢 温

●テーマ

19世紀ロシアにおける国民意識の形成

●授業概要

この授業では、19世紀ロシアの文化・思想状況を、今日のロシアとの継承性という文脈の中で位置づけるために、ロシアにおける国民意識の問題に着目して、必要と思われる資料を講読していきます。2017年度の授業では、19世紀のロシア思想史上の特徴的な現象として、西欧派、スラヴ派の論争に関する研究論文を購読し、内容を分析します。

●到達目標

ロシアの国民意識についての知識を深めるとともに、ロシア語の論文を読みこなせるようにする。

●授業計画

第1回 オリエンテーション

第2回 Н. И. Цимбаев Славянофильство (1) С. 7-9.

第3回 Н. И. Цимбаев Славянофильство (2) С. 9-11.

第4回 Н. И. Цимбаев Славянофильство (2 続き) С.11-12.

第5回 Н. И. Цимбаев Славянофильство (2 続き) С. 12-14.

第6回 Н. И. Цимбаев Славянофильство (2 続き) С. 14-15.

第7回 Н. И. Цимбаев Славянофильство (2 続き) С. 15-16.

第8回 Н. И. Цимбаев Славянофильство (2 続き) С. 16-17.

第9回 Н. И. Цимбаев Славянофильство (2 続き) С. 17-19.

第10回 Н. И. Цимбаев Славянофильство (3) С. 19-20.

第11回 Н. И. Цимбаев Славянофильство (3 続き) С. 20-22.

第12回 Н. И. Цимбаев Славянофильство (3 続き) С. 22-23.

第13回 Н. И. Цимбаев Славянофильство (4) С. 23-25.

第14回 Н. И. Цимбаев Славянофильство (4 続き) С. 25-26.

第15回 Н. И. Цимбаев Славянофильство (4 続き) С. 26-28.

●事前学習

担当箇所をあらかじめ和訳しておく。

●事後学習

授業において問題になった個所について確認し、知識を正確なものとする。

●成績評価

授業における発表による。

●テキスト

開講時に配布する。

●参考書・参考資料等

適宜指示する。

●備考

特になし。

ロシア文化・思想特論B

(秋学期／2単位)

大矢 温

●テーマ

19世紀ロシアにおける国民意識の形成

●授業概要

この授業では、19世紀ロシアの文化・思想状況を、今日のロシアとの継承性という文脈の中で位置づけるために、ロシアにおける国民意識の問題に着目して、必要と思われる資料を講読していきます。2017年度の授業では、19世紀のロシア思想史上の特徴的な現象として、西欧派、スラヴ派の論争に関する研究論文を購読し、内容を分析します。

●到達目標

ロシアの国民意識についての知識を深めるとともに、ロシア語の論文を読みこなせるようにする。

●授業計画

第1回 オリエンテーション

第2回 Н. И. Цимбаев Славянофильство (4 続き) С. 28-29.

第3回 Н. И. Цимбаев Славянофильство (4 続き) С. 30-31.

第4回 Н. И. Цимбаев Славянофильство (4 続き) С. 31-32.

第5回 Н. И. Цимбаев Славянофильство (4 続き) С. 32-33.

第6回 Н. И. Цимбаев Славянофильство (4 続き) С. 33-34.

第7回 Н. И. Цимбаев Славянофильство (4 続き) С. 34-36.

第8回 Н. И. Цимбаев Славянофильство (4 続き) С. 36-38.

第9回 Н. И. Цимбаев Славянофильство (5) С. 38-40.

第10回 Н. И. Цимбаев Славянофильство (5 続き) С. 40-42.

第11回 Н. И. Цимбаев Славянофильство (5 続き) С. 42-44.

第12回 Н. И. Цимбаев Славянофильство (6) С. 44-46.

第13回 Н. И. Цимбаев Славянофильство (6 続き) С. 46-47.

第14回 Н. И. Цимбаев Славянофильство (6 続き) С. 48-49.

第15回 Н. И. Цимбаев Славянофильство (6 続き) С. 49-50.

●事前学習

担当箇所をあらかじめ和訳しておく。

●事後学習

授業において問題になった個所について確認し、知識を正確なものとする。

●成績評価

授業における発表による。

●テキスト

開講時に配布する。

●参考書・参考資料等

適宜指示する。

●備考

特になし。

ロシア文化・思想特殊演習 A (春学期/2単位)

大矢 温

●テーマ

研究計画を確認し、修士論文を執筆する。

●授業概要

この授業は修士論文の指導を主たる目的としている。したがって、それぞれの教員が指導担当の大学院生と相談の上、論文のテーマにそったテキストを選定し、授業を進めていく。

●到達目標

ロシア研究の高度な理解と考察を踏まえつつ、研究テーマにおける専門性を深めた修士論文を完成させる。

●授業計画

第1回 修士論文の執筆ガイダンス

第2回 テーマと研究計画の確認

第3回 研究進捗状況の報告 (1)

第4回 研究進捗状況の報告 (2)

第5回 研究進捗状況の報告 (3)

第6回 研究進捗状況の報告 (4)

第7回 研究進捗状況の報告 (5)

第8回 修士論文執筆内容の指導 (1)

第9回 修士論文執筆内容の指導 (2)

第10回 修士論文執筆内容の指導 (3)

第11回 修士論文執筆内容の指導 (4)

第12回 修士論文執筆内容の指導 (5)

第13回 修士論文執筆内容の指導 (6)

第14回 春学期の成果報告

第15回 夏期休暇中の研究予定確認

●事前学習

収集した資料を読み込む。資料に基づき、執筆作業を順次進める。

●事後学習

指摘事項に基づき、論述を加筆修正する。

●成績評価

準備作業の経過時間と、発表内容の品質により評価する。

●テキスト

特になし。

●参考書・参考資料等

特になし。必要に応じて随時指示する。

●備考

特になし。

ロシア文化・思想特殊演習 B (秋学期/2単位)

大矢 温

●テーマ

研究テーマに則った修士論文を提出する。

●授業概要

この授業は修士論文の指導を主たる目的としている。したがって、それぞれの教員が指導担当の大学院生と相談の上、論文のテーマにそった研究資料を選定し、授業を進めていく。

●到達目標

ロシア研究の高度な理解と研究を踏まえつつ、研究テーマにおける専門性を深めた修士論文を完成させる。

●授業計画

第1回 研究成果の報告

第2回 修士論文執筆内容の指導 (1)

第3回 修士論文執筆内容の指導 (2)

第4回 修士論文執筆内容の指導 (3)

第5回 修士論文執筆内容の指導 (4)

第6回 修士論文執筆内容の指導 (5)

第7回 修士論文執筆内容の指導 (6)

第8回 修士論文中間発表会の準備 (1)

第9回 修士論文中間発表会の準備 (2)

第10回 修士論文中間発表会予行

第11回 中間発表会における問題点の整理

第12回 中間発表会における問題点修正

第13回 修士論文の仕上げ (1)

第14回 修士論文の仕上げ (2)

第15回 修士論文提出の最終報告

●事前学習

収集した資料を読み込む。資料に基づき、執筆作業を進める。

●事後学習

指摘事項に基づき、記述を加筆修正する。

●成績評価

準備作業の経過時間と、発表内容の品質により評価する。

修士論文の最終的な内容により評価する。

●テキスト

特になし。

●参考書・参考資料等

特になし。必要に応じて随時指示する。

●備考

特になし。